

## 文化における女性と都市空間における女性

江口, 久美  
九州大学持続可能な社会のための決断科学センター : 助教

<https://doi.org/10.15017/2236687>

---

出版情報 : 決断科学. 6, pp.105-107, 2019-03-23. 九州大学持続可能な社会のための決断科学センター  
バージョン :  
権利関係 :

## 文化における女性と都市空間における女性

江口久美 九州大学持続可能な社会のための決断科学センター

私の担当する講義では、ソフト面・ハード面双方から女性像にアプローチを試みた。まずは、固定観念を払拭させることを目的として、ソフト面、すなわち文化における女性について学生に考察を促した。そのため、「女性」の定義について考えてください」というブレインストーミングを冒頭で行った。ここで、学生たちは改めて、「女性」という文化的概念が固定的でありながらも、その実曖昧なものであることに気づいた。

続いて、いくつかの近年の男女の枠を超え、関係を新たに見出す現象を紹介し、女性の固定観念を壊した。近年の例としてあげるのは、ジェンダレス男子（美意識が高く、メンズ・レディースの服を自分らしく着こなす男性）(1)、アンドロジナス（性の差異を超えて自由に考え行動しようという考え方）(2)、女体化（既存の男性キャラクターを女性にしてしまうこと）(3)、「バブみ」（年下の女性へ求める母性）(4) などである。

また、女性のイメージが虚構的・共同体的に生成される例として、精神科医・斎藤環の戦闘美少女論（甲冑に身を固め、あるいは重火器を携えた可憐な少女のイメージ）(5)を取り上げた。このイメージは「少女性」と「少女たちが同一化するためのアイコン」、「セクシュアリティの対象物」、変身後の戦闘による「万能感、完全性」といった要素を共存させるために共同体により構築された虚構のイメージであることを解説した(6)。

その後、こうしたイメージは、全くの虚構から作られたものではなく、ハード面、すなわち都市空間における女性のあり方がベースとなっていることを解説した。

その事例として、戦闘美少女に分類される魔法少女ものの元祖に近い、1964年から放映されたアメリカのホームドラマ『奥様は魔女』をとりあげた。このドラマの制作に至る文化的背景には、1950年代からアメリカに次々と建設された郊外の「ニュータウン」における抑圧された専業主婦の女性像があることを解説した。アメリカでは、1947年から1969年にかけて、63の「ニュータウン」が計画されている(7)。代表的な事例は、カリフォルニア州アーバインであり、北米最大の40万人の人口計画がなされている。こうしたニュータウンの戸建て住宅に専業主婦として住まうことが、若い女性のアメリカン・ドリームであったが、実際生活すると退屈であり不満があったため、先のドラマが生まれた。

また、宮台真司による日本の「団地化」論を解説した(8)。団地化には段階があり、第一段階は、郊外化すなわち「団地化」であり、地域共同体の崩壊と家族への内閉化が起きた。80年代になると第二段階、すなわち郊外化＝コンビニ化が起き、家族共同体の崩壊と第四空間化(街への流出)が起きた。このような文化的背景のもと、1983年からテレビドラマ『金曜日の妻たちへ』が放映され、当時の郊外における核家族の女性像が浮き彫りにされたことを紹介した。

以上の講義を通じて、文化・都市空間両面から女性像を考察・構築することを試みた。今後の講義において、学生の議論が活性化し、新たな女性像が描き出されることを期待している。

## 引用文献

1. 雑賀 信之助, 「ジェンダーレス男子」と呼ばれる、原宿で人気の“こんどうようち”って!?, 『avex portal』, avex portal(2016) (<https://avexnet.jp/column/detail.php?id=1000081>)
2. 小学館, 「デジタル大辞泉」, 『コトバンク』, コトバンク(2019) (<https://kotobank.jp/>)
3. ニコニコ大百科, 「女体化」, 『ニコニコ大百科』, ニコニコ大百科(2019) (<https://dic.nicovideo.jp/>)
4. ニコニコ大百科, 「バブみ」, 『ニコニコ大百科』, ニコニコ大百科(2019) (<https://dic.nicovideo.jp/>)
5. 斎藤環, 『戦闘美少女の精神分析』, ちくま文庫, (2006)
6. 江口久美, 「戦闘美少女化するアイドルたち」, 『波紋言論Q 第巻』, 九大サブカルチャー研究会(2018), pp.16-19
7. 佐藤健正, 『近代ニュータウンの系譜: 理想都市像の変遷』, 市浦ハウジング & プランニング, (2015)
8. 宮台真司, 『まぼろしの郊外—成熟社会を生きる若者たちの行方』, 朝日新聞社, (1997)



江口久美 えぐち くみ

九州大学持続可能な社会のための決断科学センター助教（総括チーム）

1983年東京生まれ。2011年東京大学大学院工学系研究科博士課程修了。都市工学専門。フランスの町並み保全と合意形成、ギリシャの観光まちづくり、餅文化の学際的評価を研究対象としている。主な著書に、江口久美（2015）「パリの歴史的建造物保全」中央公論美術出版。